

たものと深く感謝する次第である。最後に、多々、不手際のあったこととお詫び申し上げる。(納田美也 記)

エクスカーションで見られた水草他

木沢塩田跡—アツケシソウ、ホソバノハマアカザ、ノラニンジン、ハママツナ、ハマサジ、ウラギク、イソヤマテンツキ、カワツルモ、ヨシ

御坊川—クロモ、ナガレミズヒキモ(仮称)、ウキクサ、アオウキクサ、コウキクサ、ミジンコウキクサ、オオイシソウ(紅藻、加崎英男先生同定)、

川添橋—オオカナダモ、トチカガミ、ウキクサ、アオウキクサ、ミジンコウキクサ、キシユウスズメノヒエ、チクゴスズメノヒエ、メリケンガヤツリ、アシカキ、ウキヤガラ、クサヨシ、ヒメガマ、ガマ、ヒシ、ヨシ、ツルヨシ

小村橋—クロモ、コカナダモ、エビモ、ナガレミズヒキモ、ヤナギモ、アイノコヒルムシロ、ホザキノフサモ、クワイ、ウキクサ、アオウキクサ

女井間池—ヒシ、ゴハリマツモ、ガマ、ハス、ヨシ、マコモ、ガマ、ウキヤガラ、付近の水溝でオギノツメ、ミゾソバ、カサスゲ、アゼナ、スズメノトウガラシ、アオウキクサ、ウキクサ

五分の一池—ガガブタ、アシカキ、ハンゲショウ、エビモ、マツモ、クロモ

久米池—アサザ、ヒシ、クログワイ、カンガレイ、クワイ、ショウブ、ハンゲショウ、ウキシバ

新田町用水路—コカナダモ、ナガレミズヒキモ、セキシヨウモ、ササバモ、エビモ、マツモ、イトモsp., ミズオバコ、ウキクサ、アオウキクサ

総会報告

○報告事項

1. 会員状況

(1) 会則8条(2)による退会者	33名
(2) 現在の会員数(7月31日現在)	
会費完納	158名(68.1%)
60年度未納	50名(21.6%)
59年度未納	24名(10.3%)

計 232名

2. 昭和59年度会計報告

<収入>

前年度繰越金	80,194
会費	533,000

別刷代	20,900
バックナンバー売上金	19,500
第6回全国集会余剰金	50,500
寄付金	27,500
利息	1,877
その他	1,920

合計 735,391円

<支出>

会報印刷費	566,200
会報発送費	171,120
封筒印刷費	18,000
事務費(文具・通信費)	17,780

合計 773,100円

次年度への繰越金 -37,709円

3. 会報編集状況

昭和59年度は、年4回順調に発行でき、総ページ数88ページとなった。今後とも積極的な投稿を期待する。

○審議事項

1. 会費値上げの是非について

現状どおりの活動を維持してゆくためには、年間70万円以上の経費が必要であるが、会費収入は50数万円しか見込むことができない。このままでは、今後、赤字がどんどんふえてゆくことが必至である。若干の会費値上げをおこなってでも現在のレベルを維持してゆくのか、会費は据えおいて活動を縮小するのか、今、その選択を迫られている。このような問題提起を受けて議論が行なわれた結果、次のことが了承された。

- (1) 61年度より、会費を3000円に値上げする。
- (2) 会報の頁数は、全国集会の講演を集録する9月号以外は、原則として16ページにとどめる。
- (3) 4ページを超える原稿は、超過分実費を著者負担とする。

2. 次年度全国集会開催地

東日本を優先するという事で役員会に一任。

3. その他

来年7月、日本雑草学会主催で水生雑草に関するセミナーが開催される(於倉敷)。水草研究会会員もふるって参加されるよう呼びかけがあった。